

令和 6 年度

第 1 回 柏市社会教育委員会議

会 議 資 料

令和 6 年 7 月 2 0 日

柏市社会教育委員 委員名簿

所属等	職務名	氏 名 ※敬称略
柏市立柏第五中学校	校 長	わたなべ あき お 渡邊 昭雄
日本体育大学柏高等学校	教 諭	こにし ともこ 小西 智子
柏市青少年健全育成推進連絡協議会	会 長	あらい まさひこ 荒井 真彦
柏市障害者等社会参加コーディネーター		いしがき ひろこ 石垣 裕子
さわやかちば県民プラザ	所 長	にしはら まさお 西原 正男
柏市社会福祉協議会 地域福祉課	課 長	たかはし ふみなり 高橋 史成
柏市PTA連絡協議会	会 長	すずき みちたか 鈴木 道貴
みんなの子育て広場支援コーディネーター		しもじ きょうこ 下地 今日子
柏市民生委員児童委員協議会	副会長	か ず よしこ 賀数 佳子
開智国際大学教育学部	教 授	てらもと たえこ 寺本 妙子
公募委員		きむら ひろき 木村 博貴
公募委員		まつもと すぐる 松本 英

任期：令和5年6月1日から令和7年5月31日まで

※鈴木委員の任期については令和6年7月1日から令和7年5月31日まで

柏市教育委員会 出席職員名簿

所 属	職 名	氏 名
生涯学習部	部 長	みやもと 宮本 さなえ
生涯学習課	統括リーダー	たけうち くにひろ 竹内 邦裕
	担当リーダー	ひろせ くみこ 廣瀬 久美子
	担当リーダー	やまだ けんじ 山田 賢二
	主 事	おかだ ゆきえ 岡田 幸恵
	主事補	たなか ゆい 田中 優衣
	生涯学習専門 アドバイザー (生涯学習分野)	はえぬき ひろたか 萌拔 博孝
		いわぶち ひろみ 岩渕 弘美
		おかの としろう 岡野 敏郎
中央公民館	館 長	まきの ともこ 牧野 共子
図書館	館 長	さかぐち そのこ 坂口 園子

次 第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 生涯学習部長あいさつ
- 4 議長あいさつ
- 5 新任委員あいさつ
- 6 事務局紹介
- 7 報告事項
令和6年度生涯学習部各課・館主要事務事業概要
- 8 説明事項
前年会議の振り返り
アンケート調査の結果について
- 9 協議事項（グループワーク）
「TeToTe 5 階に開設する中高生世代の居場所の運営方針に関して」
- 10 事務連絡
- 11 閉会

目 次

1 報告事項

令和6年度生涯学習部

各課・館主要事務事業概要について

別添資料2 参照

「令和6年度生涯学習部各課・館主要事務事業概要について」

2 説明事項

前年会議の振り返り

第1回 令和5年7月23日

(1) 社会教育委員についての説明

改選後の初会議であったため、社会教育委員の概要について説明した。

(2) 事例発表

中高生世代モニターから、半年間の活動報告があった。

(3) 意見交換

社会教育委員と中高生世代モニターの間で意見交換をし、中高生世代の居場所に対する意見を直接聴取した。

----- 主な意見 -----

- ・ 中高生世代の居場所に、どのようなスタッフがいるとよいか？
⇒年齢の近い人、大学生などがいてくれるといい。堅苦しい話ではなく、自分の好きな話がしたい。スクールカウンセラーもいてほしい。他には、スポーツや楽器演奏のアドバイスができる人。専門家に講座を開いてほしい。
- ・ 松戸市青少年プラザを見学して、施設のよかったところは？
⇒防音設備が整っていて、周りを気にすることなく音楽の練習ができるところ。柱が黒板になっていて、話が苦手な人は絵をとおして交流できる仕組み。夏フェスなどのイベントの運営ができるとよい。静かなスペースと交流スペースが区切られていたところ。無料の学習スペースがあるところ。
- ・ 中高生世代の居場所を友人にどのように伝える？
⇒アプリで宣伝する。学校ごとにプリント配布する。自分たちで専門のサイトをつくる。「中高生向けの施設があるよ。」と伝えるより、みんなが楽しめるような仕組みで楽しさを実感してもらうことが大事。楽しくないと来館しない。

第2回 令和5年11月25日

(1) 文京区青少年センター「b-lab」の視察

「放課後の子ども（小学生）の居場所づくり」（抜粋）に基づき、今後の事業イメージについて説明した。

(2) 協議事項

「文京区青少年プラザの視察から得たもの」をテーマに、b-lab 運営職員への質問を挟みながら、協議を行った。

----- 主な意見 -----

文京区青少年プラザ（b-lab）の良かった点

【ハード面】

- ・建物全体が採光に優れて明るく、開放感がある造り
- ・教育センターに設置されていることで、建物内の別部署との連携も可能
(不登校児童・生徒支援教室と b-lab の併用利用や、情報共有など)
- ・建物 1 階の入り口から b-lab の受付が見える立地であるため、教育センター内の別部署に用事がある人に広く認知してもらえるのでは

【枠組み面】

- ・運営コンセプト：「居場所」－「きっかけ」－「ステージ」が、運営内容と紐づいていることで、様々な取組が有機的につながっている
- ・文京区と委託運営者（カタリバ）の関係や、協業が良好である
- ・施設の愛称（b-lab）や、施設紹介「中高生の秘密基地」、ロゴマークのセンスが良い
- ・利用対象者を中高生に絞り、そのターゲットが共感できるメッセージを発信している

【運営面】

- ・利用者の主体性を重視していて、主体的に居心地の良い居場所になるよう、きっかけを創出している
- ・きっかけを作るための仕掛けが各所に設けられている（利用受付、備品貸出手続き、イベント、サークル活動、ちょっとしたお仕事募集、壁に貼られたクイズなど）
- ・意見箱などを設け、利用者の声を取り入れてくれる雰囲気
- ・自由な雰囲気がありながらも、監視カメラなどで見守りもされている
- ・Switch や iPad などの中高生に人気のツールや漫画・書籍を利用できる

【人的資源】

- ・カタリバスタッフの意識や専門性、ノウハウの質が高い
(利用者の関わり方も個々人の性質を見極めてグラデーションをつける、各種装飾品を通じての関わりの仕掛け、イベントの企画や運営、広報紙作成や YouTube 発信などの技術)

柏市に置き換えて、施設の気になった点

- ・運営コンセプトをどのように設定し、空間レイアウトや活動展開をしていくのか
- ・人材の量・質、両面の確保
- ・利用者のニーズに合わせた施設内容にどの程度答えるか
- ・対応記録の取り方（個人情報の扱い）や、他機関への連携をどのように行うか
- ・同じ建物内の他フロアとの連携の在り方
- ・安全性を確保するため、スタッフ数や運営マニュアルは事前検討が必要
- ・利用者に届く広報や施設内掲示の在り方、デジタル化への対応
- ・公施設としての公平公正な在り方と、利用者の主体性・自主性のバランスの難しさ

第3回 令和6年2月21日

(1) 諮問

「こども・若者の居場所づくり基本方針の策定に向けて」、事務局から諮問を行った。

(2) 協議事項

「柏市に必要な居場所と、提供できそうな取り組みについて」をテーマに、グループ協議を実施。

----- 主な意見 -----

- ・きっかけ、ワクワク感、役割が提供できる場所が必要だと考える。一例として、駄菓子屋はどうかと案が出た。お客さんのターゲットは小学生、運営者を中高生にして、どのような運営をしたら小学生が楽しめるかを考えてもらう。つまづくところは大学生ボランティアなどの、中高生と年齢の近い大人がサポートをするイメージ。施設や特定の場所に来る＝行きたいと思わせる、役割があるなどの仕組みづくりが大事だと考えた。
- ・子どもたちに共通して必要だと考えるのは「学習」という面。本に親しむ空間や、学習スペースは、どの年齢の子も必要としている。それ以外の要素は年齢により異なると考えた。例えば、小学生は安心・安全な場であることが大事であったり、体を動かす機会、運動もしたいだろう。中高生は料理・科学教室やゲーム等のイベントや、個人の趣味を通じた交流ができることや、近い年齢の大人との交流・支援が必要だと考えた。

3 説明事項

アンケート調査の結果について

別添資料 3 参照

「アンケート調査結果」

4 協議事項

1 グループワークの実施

今回の議題

TeToTe 5 階に開設する中高生世代の居場所の運営方針に関して

TeToTe 5 階の中高生世代の居場所を 1 2 月に開設する予定であり，本格稼働する令和 7 年度に向けて，当事業の運営方針について，グループ協議を通じて委員のみなさまからご意見を伺うものです。

2 テーマについての補足

当日掲示します。

3 グループワークの方法

- ・ 2 班（A 班，B 班）に分かれていただきます。
- ・ 3 5 分間協議した後，1 0 分でグループ内のまとめをお願いします。
- ・ 話し合った内容を各班 5 分程度で発表をお願いいたします。
（班ごとに発表者を決めて下さい。）